

1. 野島地域の将来のヒント

自然環境

自然

自然が豊か(海、山)
海水がきれい
空気がおいしい
ガス臭くない
自然に恵まれ、生き物の宝庫である
海水浴場が美しい
この島の海岸は砂ではなく砂利だから気持ちいい
津久美海岸の裏に、海からのゴミが溜まっている
錆びてるものや漂流物が多い
島の外から来る人などがゴミなどを捨てる
国定公園に指定されているため、島全体をいじることができない
自然公園がほしい

動物

ネコが多い、かわいい、子猫もいる
うぐいすの声や大空を飛ぶ鳥が見えるところ
鳥のさえずりがよく聞こえること
アサギマダラ(蝶)が来島する
学校の前にはるちゃんという犬がいる
ネコふれあい広場がほしい
ネコ好きのために、ネコ紹介やネコうえん(ネコ+公園)をつくる
島の外来種を取り除く
ハチに対しての対応(学校にたくさん入ってくる)
ペットショップがほしい

歴史・文化

家のつくりが良い
歴史が深い
古くから伝わる歴史や歌がある
江戸時代に住人がいた史料がある
昔の物を展示した資料館がある
船がある

景観

景色がいい
高いところからの海の景色がいい
夕日がとてもきれい
お墓のお花がいつもきれいに飾られているところ

ゆとり・いやし

景色が良くて嫌なことが忘れられる
のどか
静かに過ごすことができる場所
時間にとらわれずにいられること
穏やかな時が流れている
クラゲが多くて良い
生活にタイム性がない

レジャー

海水浴場があるところ
暑いときにすぐ泳げる
釣り、海水浴、キャンプができる海岸がある
ジョギングしやすい(一回りで3kmくらい)
年に数回浜市があり新鮮な魚を求め多くの人々が来島する
魚がたくさん採れる
海釣りができる、魚が三田尻よりも釣れる
釣り客が多い
マリンスポーツ(カヤック体験など)ができる
泊まる場所がある
青少年の家ができそう(自然体験型)
大人や子どもが休日に遊べる場所がない
娯楽施設をつくって、人を呼びたい
本州の人が来て遊べる場所を増やす(公園とか)
マリンスポーツをできることが発信できていない
泊まる場所がほしい
旅館をつくって釣り人を集めたい
つり用のエサ売り場がほしい
釣りに来た方がゴミを置いて帰ってしまう
みんなで星を見る展望台をつくってほしい
スポーツ施設がほしい
体験のできる〇〇塾とかがない
アスレチック付の少年自然の家をつくろう
島南部を観光所にする
公共施設を増やし、野島に活気を出す

生活環境

子どもの遊び場

子どもが遊べる場所が少ない
もっと遊ぶ場所を増やしたい
公園がない
釣りをすると近くの近くや山のところ(階段でいける程度)にアスレチックがほしい
東屋を広くしたい(レインボーあかねの目の前のところ)
港の近くの東屋をもうちょっと快適にしてみたらどうでしょう?(螺旋階段と展望台をつける)
子どもの好きそうなお店(しかも野島特有の)がほしい(猫の遊具のアスレチックや猫ふれあい場とか)

小中学校

小中学校があるところ
他の学校ではできないこと(シーカヤック)ができる
小中学校の建物を安全にしてほしい
小中学校の寮がない
野島小中学校の交流校が少ない(小学校は向島小、中学校はない)
野島小中学校をもうちょっと有名にしたら生徒もいっぱいくるかも(それで野島の知名度をUP!)
グラウンドが小さい
学校の遊具を直してほしい(さびてる、すべり台に穴が開いている)

食

食べ物がおいしい
食べ物(魚、海草、野菜など)が新鮮でとても美味しい

住宅

空き家が多い
誰も住んでいない家をなんとかしたい
アパートを建てたら良い

島の生活環境

静かな環境、工場がなく車も走らない
騒音が少なく、鳥の鳴き声で朝目が覚める
上下水道が完備されている
生活面が自然・天候の影響を受けやすい
生活するのは少し不便

買い物

小売の商店がない
買い物は本土に行くか、週1の移動販売かで購入に行くだけで大変
お店を増やしてほしい(主にパンの種類(漁業組合))
コンビニがほしい

雇用

島内での職種が限られている、水産関係がほとんど
仕事がない

医療

薬屋がほしい
いざという時のために病院がほしい
診療所をおいてほしい
島の人が健康診断に来れる所があるといい
常駐の医者はいない、ドクターヘリは強風では飛べない

インターネット環境

インターネット、Wi-fiが入る、動画も見れる、買い物もできる
Wi-fiの電波がつながりにくい
ネットワークが整備されていない
インターネットとテレビの環境

凡例

野島のよいところ

野島の改善したいところ

1. 野島地域の将来のヒント

凡例

野島のよいところ

野島の改善したいところ

交通利便性

交通（船、島外）

船に乗って渡って来れるところ
 船で通うところに味がある
 船がきれい
 交通が不便、船でしか行けず行くのが大変
 船の運行時間を変えてほしい
 船の最終便で遅い時間がない
 船の便数が少ない
 船の運賃が高い
 欠航が多い、冬は海が荒れて欠航の日が増える
 三田尻港からの交通手段がバスなので不便な
 時がある（免許がない人）
 三田尻港までのバス本数が少ない
 送迎バス等の利用が出来ればよい（自宅から港
 まで）
 三田尻からもっと早く島まで行きたい
 下関に行く間の船の燃料所
 大津島との交通連携

島内の移動環境

車が走っていないので、ゆったり歩ける、安全に
 通れる
 どこにでも歩いていける
 ほとんど道が舗装されている
 信号機がなく安心して歩ける
 高齢者の方が多いのに、道にかなり傾斜がある
 島の階段が急すぎる
 島を一周する道路がない
 老人の移動が大変（足の悪い人の階段）
 生活導線が狭い

安全性

安心・安全

安全だから交番がない
 あまり危険性がない
 土砂崩れが起きてもすぐに助けにこれない
 復旧が遅い、停電になったら困る
 救急搬送（ヘリがおりられる場所があまりない）
 南海トラフ地震の対策

その他

山が多い（建物を建てられる場所が少ない）
 埋め立て土地があるとよい

2. 野島地域の将来像

20年後の野島地域はどんな風になると良いでしょうか？

凡例

こうなってほしいこと

★は、特に実現したいこと

島の活性化（観光・交流・移住促進）

島のPR

★野島&野島の猫のPR	野島の写真資料館
野島PRビデオをつくる、背景に良いところを映す	市長さん見に来て
PRキャンペーンのゆるキャラを作って宣伝をする	入浴できると、釣り人がゆっくりできる
はもるん(鱧+ハーモニー、学校の企業連携で考えているゆるキャラ)をPRして、野島をアピール	島新聞
野島のキャラクターのきぐるみができる	市役所に島活性化課を設置
野島太鼓を広げる、知名度を上げる	埋め立て土地や魚の養殖で、PR資金を稼ぐ
風景美の発信(島から見た防府・徳山の写真など)	

観光資源の保全、増加

★島全体を昔のようにツツジで一杯にして、茜島の名をとり戻す	★島の特産品を作る
茜島の復活(ツツジがいっぱい咲き乱れる島)	★魚に野島ブランドを付ける(「あかね鯛」「あかねメバル」等)
茜猫島計画(茜島の復活と猫島としてのPR)	野島ブランドの特産品が全国で売られている
自然を最大限に活かした島にしたい	野島どうふと野島の押し寿司が有名になる
美しい観光地として有名になっている	野島どうふを受け継いで販売してほしい
きれいな海水浴場を残したい(石の浜)	野島のお土産屋を(野島だけのお菓子とかストラップとか)
野島の歴史を若い次の世代に伝承していく必要がある	野島のおみやげ屋さんができたらいい
観光客で賑わったらいい	★釣り客に向けたサービスの向上(エサを売る等)
観光スポットを増やす	船の貸し出しがあって、それで船釣りができる
山のヤブを手入れして、「野島灯台」や兵舎跡を観光スポットにする	★魚がたくさん釣れて、野島の魚料理が食べられる
★海の家を復活させる(夏)	もっと簡単に釣りができる
海水浴場で自然に採れたものを売る店	山ハイキング(途中に憩いの家みたいなのをつくる、猫の置き物やお土産屋)
	海下に、ガラス張りで見れる施設をつくる
	水族館(クラゲなど、島周辺にいるものを集める)

宿泊施設、滞在型施設の設置

★旅館を増やして、泊まる人を増やす	山を上り下りできるサイクリングコース(つかれた人用のロープウェイも)
★長期滞在できる宿づくり	泳ぎやすい海水浴場の整備
★海が見える旅館	フィッシュパークをつくり、来客を増やす
★空き家を利用して、古民家カフェや民宿で観光客を増やす	キャンプ場の活用を増やす(今は夏のみ→改:春~秋)
空き家などを利用して旅館をつくる	キャンプで釣れたての魚が食べられる
キャンプ場の充実、泊まれるようにする	自分たちで釣ったりした魚などをホテルで料理してもらう
★野島少年自然の家みたいなのをつくったら(シーカヤック体験とか野島小中学校とふれあうとか)	水泳の講習会(富海でやっている)
PKOの施設、体験型をつくる	海の家ができる
平日でも人が来なくなる施設	食べ物屋の出店(焼きそば、飲み物、かき氷)
子どもが喜ぶものをつくれれば、大人がついてくる	

交流促進・イベント

”あかねつつじ祭り”で観光客が押し寄せている	野島小中学校との交流促進、学校のPR
マリンスポーツのイベント・大会の開催	ふるさと納税1口2万円で、野島の渡船一ヶ月無料券
夏休みシーズンに小・中・高校生にマリンスポーツの教室等を開く	ふるさと納税で浜市で使える商品券を配布
魚釣りのイベントが行われる	ふるさと納税で、渡船の回数券を渡す
写真の撮影大会の開催(風景・夕日・朝日)	ネット募金をして、募金をしてくださった方には乗船券をあげる
赤灯台とか野島の自慢したいところとかにスタンプを置いて、スタンプラリーができたらすごい	

移住促進

★野島の知名度UP!そして人口UP計画	若い人がいないと行事が続かない
移住者を募る	新しい家が増えているといいな
移住者に、市から支度金を与える	防府市内の方からいろんな人が来て住んでほしい
島の子どもに補助金	活気があふれている
小中の人数を増やす	★介護施設をつくる事で雇用が生まれる
高校をつくる	★インターネット環境を強化することで、島で起業できるようにする
★島の子どもがいる	病院、お店、働く場所、ネット、携帯の電波が入る環境をつくれれば人口が増加する可能性がある
子どもが少しずつ増えてきてほしい	

2. 野島地域の将来像

20年後の野島地域はどんな風になると良いでしょうか？

凡例

こうなってほしいこと

★は、特に実現したいこと

生活環境の改善

空き家の活用

空き家が少なくなっている	★空き家民宿をつくる
空き家を有効活用	

交通（船）

★船便が多くなって、人があふれる	船を2つ使ってダイヤを増やす
★釣りの人のために、朝早くの便を作る	来島者や若い島民が増え、船代が安くなっている

島内の移動環境

車は少ないほうがよい	道路を整備してオートのタクシーで釣り人の送迎をする
★空き家をつぶして生活動線を広げる	橋ができている
道・遊歩道が整備され、島を一周、散策できる	

その他

未来都市づくり	近くの大津島と橋でつなぐ
防府トンネル	犬とかがもうちょっと増えてほしい
ムーミン谷をつくる	ねこが増えてほしい

島の生活環境

★スーパーをつくる	野島で働くことができる場所の充実
買い物ができる場所が増える	水産加工場をつくる
生鮮食品を売るお店ができる	病院ができる（せめて週2～3回は病院の先生が来る）
野島の釣りたての魚が売っている魚屋がある	★島全体が公園みたいになる（犬とかペットとかも遊べるところがほしい）

防災対策

台風、水害対策がされている	6mの津波に対応できる場所を確保する
港に、満潮、干潮の表示をする	地震、水害、火災の対策施設がある

防犯対策

交番がある	
-------	--

3. 将来像に向けた取り組み

野島地域の将来のために、私たちにできること

凡例

★は、特に取り組みたいこと

島のPR

★いろんな所・時・場所において野島をPRする	★野島のオリジナルグッズを作る(小中学校で考案中)
★広報紙を作る	野島のキャラクターを考え広める
★ホームページ新設	野島Tシャツを広める
野島観光パンフレットをつくり、市内各所へ配る	★授業の一つとして釣り体験があるが、他校の子どもたちも来島して頂き、一緒に体験してもらう
隣近所の人に野島の良さを話し、とにかく1度来てもらう	起業体験を通して野島を全国にアピールしていく(小中学校でやっています)
知り合いに野島のことを話す	★漂流物アート
空き家情報をわかりやすく出す	外国の人をいっぱい連れてくる(あわよくば住ませる)

交流機会の創出

★夏休み(地域が参加しやすい7月下旬)に地域以外も巻き込んだイベントをする(例:ITキャンプ)	★島に来る回数を増やす
★地域の人との交流をする場所をもっと作る	友達や家族と遊びに来る
親子で来てもらえるイベントをする	夏休み1日草取り期間(7月の日曜日)をつくって島に来るようにする
イベントに対して、地元からは魚の提供ができる	小中学校を1日タダで体験できる(同じ人は3日まで体験可能)
浜市をはじめ野島でのイベントをつくる	漁業体験をしてもらう
浜市を充実させて、回数を増やす	マリンスポーツ教室を開いてもらう
浜市に参加する	夏休みなどの民宿をする

美化活動

森を使用するために木を刈る	津久美浜をきれいな状態のまま維持する(清掃活動)
島をきれいにする	ゴミ拾い
木とか花を植える	森を使用するために木を刈る
つつじを植える	盆口説きに使用する土地の整備

道普請

坂道を整備してウォーキングコースをつくる(ダムや昔の建物を見学できる)

将来像の検討

野島から茜島へかえる
★ワークショップに参加して野島の将来について考える